

## 再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(全体計画書)

市町村名

辰野町

(事業計画の概要)

## 1 全体事業の概要

## 【辰野町】

辰野町では、平成20年に「辰野町地球温暖化防止実行計画」を策定し、辰野町内における大規模事業所として温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。

また、再生可能エネルギーの導入にも取り組み、昭和59年度に「辰野町老人福祉センター」へ太陽熱利用システムを設置したのを始め、平成23年度までに9箇所の施設に太陽光発電システムを設置している。

このほか平成23年10月には、辰野町民会館に太陽光発電システムを設置している。

いずれも防災上避難所となる防災拠点である。

上記施設では、地元住民の利用率が上がり、平常時でも住民の防災意識が向上していることから、いざという時(災害時)には住民間の助け合い(共助)が出てくることを目指している。

辰野町の再生可能エネルギーへの補助事業として、住宅等への設置に対しての太陽光発電システム補助と、木質バイオマスを利用したペレットストーブへの補助がある。

町独自の補助事業を実施することにより再生可能エネルギーの普及に努めている。

## 【辰野病院】

町立辰野総合病院の現有建物は昭和44年に建設され、その後増改築を繰り返した病院である。

昭和56年以前の建築物がほとんどで、耐震構造になっておらず、大地震が起きた時、建物自体が損壊し、被災者の救護にも支障をきたす恐れがある。

そのため平成22年より病院整備事業で移転新築の工事を進めていて、平成24年7月竣工となった。

上伊那北部の基幹病院として、新しい病院では災害時に対応できる施設を目指し、太陽光発電システムを設置して停電時における患者及び被災者の救護に対応するとともに、地域の拠点避難所としての機能を向上する。

## 2 市町村等の執行体制

### 事業の執行体制

- ・事業の窓口は、辰野町役場住民税務課生活環境係とする。
- ・事業実施は設置箇所の担当課（辰野病院）とする。
- ・外部機関との連携として、長野県温暖化対策課、上伊那地方事務所環境課及び平成23年に立ち上げた自然エネルギー研究会等を通じた連絡体制を整える。

### 辰野町内の体制

・辰野町地域防災計画を基にした辰野町防災会議のもと、町内各種団体及び機関等との連携をし、防災拠点としての機能向上を図る。

- ・行政、地域との連携の強化

どこでも起こりうる災害による人的被害、経済的被害を軽減し、安全・安心を確保するためには、行政による公助はもとより、個々人の自覚に根ざした自助、身近な地域コミュニティ等による互助が必要であり、個人や家庭、地域、企業、団体等社会の様々な主体が連携して日常的に減災のための行動と投資を息長く行う運動を展開するものとする。また、その推進に当たっては、時機に応じた重点課題を設定する実施方針を定めるとともに、関係機関等の連携の強化を図る。

- ・平常時、災害時の行政・地域との具体的取組

災害時において基幹的役割を果たす災害拠点病院に指定された伊那中央病院を中心に、町の枠を超えた後方医療体制として町立辰野病院を位置づけ、災害時の医療体制に万全を期す。

- ・災害時に病院として果たす太陽光発電システムの機能

災害時に電力の供給が停止しても、自家発電機と太陽光発電により、病院の機能は維持され、被災患者を処置することができる。

また、今回導入を予定している太陽光発電システムには蓄電池が備わっているため、自家発電機の燃料がなくなっても、専用の非常時コンセントで診療を行う。

- ・辰野病院に太陽光発電を導入することで、他民間病院に対して模範となるような点太陽光発電を導入することにより、上伊那北部の基幹病院として災害時に対応する。  
(災害時、他の民間病院が停電等により対応できない場合でも診療が可能となる。)

### 辰野町の執行体制

